

第6回「One by One アワード」贈呈式リポート 2

こどもたちの夢と可能性を育む社会活動

去る3月27日に開催された、第6回「One by One アワード」贈呈式から、
今月は「NPO奨励賞」を受賞した6団体の活動内容を中心にお伝えします。



NPO奨励賞を受賞した、エコ平板・防塵マスク支援協会、リヴォルヴ学校教育研究所、こども医療支援 わらびの会、HOPEプロジェクト、遊びの家共同保育園、大空へ飛べの代表の方々(写真左より)。

NPO奨励賞の表彰を受けた六
団体を表彰順にご紹介します。

エコ平板・防塵マスク支援協会(千葉)

石やレンガ廃材を再利用したモ
ザイク模様のエコ平板を考案。知
的障がいの若者たちに制作を依頼
し、経済的な自立をサポートしてい
ます。芸術的にも評価が高く、全
国二百力所の歩道や壁画に使われ
ています。

HOPEプロジェクト(東京)

がん患者自身が、がんや難病と闘
う子ども、その家族とともに、互い
の交流を深めることで、希望を育む
活動に従事。植物を育て慈しむ園
芸療法を取り入れ、自然の持つ力や
癒しを体感してもらいます。すべ
ての人々が共生し、協働できる社会
づくりを取り組んでいます。

リヴォルヴ学校教育研究所(茨城)

学習障がいを持つことでも、学校に
適応できないことのためにサポート
教材を提供し、教師らを対象に
ワークショップを開催。一人一人
に合った学習方法を考えることで
子どもの自信を回復し、本来の能力
を引き出すことに大きく貢献して
います。

こども医療支援 わらびの会(沖縄)

沖縄における子どもの医療福祉
向上に取り組む団体。こどもが県



選考委員・高橋陽子さん
(社団法人日本フランソロピー協会理事長)
「人生の困難は、強い意志と仲間の存在によって乗り越えること
ができる。この賞がそれを感じさせる場となればうれしいです」

内で高度医療を受けられるよう、署
名活動を行つて行政を動かし、専門
病院設立を実現しました。昨年は
付き添い家族のためのファミリー
ハウスも開設。今後の地域医療の
あり方を示す活動が評価されました。

遊びの家共同保育園(長崎)

水や土、太陽、虫、友達とのふれ
あいを通じて、しなやかな心と体
を育てることが目標で、自然の中
での遊び、玄米野菜による食育を
主体とした保育を実践しています。

障がいのある子どもを交えた学童
保育を自宅で開いてから十九年、多
くの子どもが卒立つていきました。
この子どもたちが卒立つていきました。
ために教員と保護者が手を取り合つて
いくことが大切だと考え、一緒に歌
や劇の文化活動を開始。不登校の
子どもたちや障がいのある子ども
たち、地域住民も参加し、誰もが協
力し合い認め合う関係を大切にしな
がらステージを作り上げています。

◆

サポートを必要とするこどもた
ちのために「今できること」を考え、
実践する。地道な努力を積み重ね
いる団体を、One by One こ
ども基金はこれからも応援してい
きます。

One by One アワードとは

ハンディを乗り越え、夢に向かってがんばることと、こどもたちのサポートに顕著な成果をあげている団体を讃える表彰制度。「キッズ個人賞」3名、「NPO奨励賞」6団体に賞状、クリスタルトロフィー、賞金目録(こども100万円/NPO50万円)が贈呈され、夢の実現に役立てていただきます。第6回は、一般公募により候補者76件・団体179件が集まりました。「キッズ個人賞」については、6・7月号でリポートしました。

